



— 奈良女子高等師範学校と
京都高等工芸学校 —

明治から 戦前期の 教育資料

2020年 10月26日 | 月 |
—— 11月21日 | 土 |

京都工芸繊維大学美術工芸資料館
(地下鉄烏丸線松ヶ崎駅下車徒歩10分)

開館時間: 10:00-17:00 (入館は16:30まで)

休館日: 日曜・祝日

入館料: 一般200円 / 大学生150円 / 高校生以下無料

*京都・大学ミュージアム連携所属大学の学生・院生は学生証の提示により無料
*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳または被爆者健康手帳をお持ちの方及び付添の方1名は無料 (入館の際は、手帳の提示をお願いします)

企画・主催: 京都工芸繊維大学美術工芸資料館

共催: 奈良女子大学

協力: 京都・大学ミュージアム連携

明治から戦前期の教育資料

—奈良女子高等師範学校と京都高等工芸学校

京都工芸繊維大学美術工芸資料館では、大学の前身校のひとつである京都高等工芸学校が1902（明治35）年に開校して以来、使命として掲げていた京都の美術工芸の近代化への貢献を検証するために、これまで多くの展覧会を開催してきました。

2014年度から2019年度にかけては、京都市立芸術大学芸術資料館のご協力を得て、京都高等工芸学校と京都市立美術工芸学校（京都市立芸術大学の前身校）の図案教育を比較する展覧会を開催し、両校がたがいに刺激しあいながら、京都の伝統産業界に新しい図案を提供していたことを示しました。

今年度は、奈良女子大学の全面的なご協力を得て、女子教員の養成学校であった奈良女子高等師範学校（奈良女子大学の前身校）初期の教育資料と、京都高等工芸学校の教育資料とを組み合わせることにより、明治・大正期の高等教育機関における教育のあり方とそこで用いられた資料の実態を明らかにしたいと思います。

両校は、教員養成と工芸指導者養成という方向性こそ異なりますが、同時期に奈良と京都で高等教育を推進していたという点で、その資料には意外な共通点がみられます。本展では、「正倉院」「有職故実」「ガラススライド」「染織」の四つのジャンルをとりあげました。両校の教育資料の共通点と相違点を、展示を通して実感していただければ幸いです。

第1章 歴史標本とデザイン標本—正倉院宝物と有職故実

両校では、正倉院宝物の模造品や模写図、有職故実まつわる資料が収集されました。それぞれの「古都」を特徴づける正倉院と有職故実。これらは、学校教育のなかでどのように伝えられ、当時の学生たちにどのように映ったのでしょうか。



吉田包春作《正倉院御物模型標本箱》年代不詳
奈良女子大学蔵



《楯扇》1904年以前
京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵 AN.0883

第2章 新しい教育メディア—ガラススライド

明治・大正期に教育メディアとして普及したガラススライド（幻燈）は、古代ヨーロッパの美術品から当時最先端の染織機械、動物や植物などの博物資料まで、さまざまな情報を学生に届けました。



Franz Stuedtner《幻燈種板ヨーロッパ美術史写真》c.1903-11
京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵 AN.2171I-109



NEWTON & CO.《幻燈用映画》20C初
奈良女子大学蔵

第3章 実学資料—裁縫教育と染織産業

両校で収集された多くの染織見本は、一方は、良妻賢母を育てる裁縫教育の資料として、もう一方は、染織産業における技術向上の資料として、その目的は大きく異なっていました。



島津製作所標本部《絹糸種類標本》20C
奈良女子大学蔵



リバティ《図案標本》19C末～20C初
京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵 AN.0825-08

当館の感染症予防対策の取組み

- ◇お客様対応をおこなうスタッフはマスクを着用し、検温による健康チェック及び手指の消毒をおこなっております。
- ◇受付には、飛沫感染防止用つい立てを設置しております。
- ◇館内入口と一部展示室の窓を常時開放し、可能な限りの換気に努めております。
- ◇多くのお客様が手を触れる箇所の定期的な消毒を実施しております。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

ご来館の皆様へお願い

- ◇次に該当する方は来館をお控えください。
 - ・発熱、せき、くしゃみ、臭覚・味覚異常など風邪の症状がある方や、体調のすぐれない方
 - ・過去2週間以内に新型コロナウイルス感染者または感染の疑いがある方と濃厚接触が疑われる方
 - ・過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国への訪問歴がある方
- ◇マスクの持参・着用をお願いいたします。マスクを着用されていない方は、ご入館をお断りいたします。

- ◇来館時に職員による検温を実施いたします。37.5度以上の熱があるお客様は、ご入館をお断りいたします。
- ◇団体のご来館はお控えください。混雑状況に応じて、入館をお待ちいただく場合がございます。
- ◇設置している消毒用アルコールで、手指の消毒をお願いいたします。
- ◇ご入館の際に、氏名・連絡先等の記入をお願いいたします。

お問い合わせ

京都工芸繊維大学美術工芸資料館
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町
TEL 075-724-7924 <http://www.museum.kit.ac.jp>
Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology
Hashigami-cho Matsugasaki Sakyo-ku Kyoto-shi Kyoto 6068585, Japan

交通

- 市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」下車1番出口から徒歩約10分
- 京都バス「高野泉町」下車、西へ徒歩約10分
- 叡山電車「修学院駅」下車、西へ徒歩約15分
- By Subways: Take Karasuma Line Subway to "Matsugasaki" Station, exit from Exit 1 and walk east for 8 minutes.
- By Kyoto Bus: Get off at "Takano-Izumicho" stop. Cross the Takano river and walk west for 10 minutes.
- By Eizan Railway: Get off at "Shugakuin" Station and walk west for 15 minutes. Museum and Archives is located in front of the main entrance of west campus.

館内同時開催

「建築家・龍光夫の仕事—緑と建築の対話を求めて」

会期：2020年9月28日（月）再開～12月12日（金）

休館日：日曜・祝日、10月17日（土）

